

東日本大震災から10年。

文責 学校長



～3.11 あの日何が起きていたのか～

1 「フクシマフィフティ(Fukushima 50)」が伝えること。

「フクシマフィフティ」という映画を知っていますか？昨年3月に封切られましたが、コロナ禍の真ただ中のため、残念ながら観客動員も少ないまま上映が終了してしまった作品です。「フィフティ」とは事故発生当時現場に留まって日本を「最悪のシナリオ」



(放射能汚染が半径250キロに及び、東日本が壊滅。避難の対象は5000万人に及ぶ)から救った約50名の作業員の活躍を指しています。まもなく「3.11」を迎えます。当時、君たちはまだ6～7歳でした。あの日のことは記憶にありますか？実はあの日、日本が「死の淵」に立たされていたことを我々は忘れかけていないでしょうか。福島第一原発を襲った大津波は、非常用電源を含めて全電源を喪失させ、原子炉を暴走させました。一番恐れていた事態に、現場にいた吉田昌郎所長を始めとする東電社員や出動を要請された自衛隊隊員は使命感と郷土愛に貫かれて壮絶な闘いを展開します。刻一刻と迫る炉心溶融を食い止めるため、死がそこに迫る現場に残り、命を懸けて原子炉建屋に突入した、名もなき作業員たちの壮絶な姿が描かれています。あの日からまる10年の月日が流れ、今私たちはコロナ禍とは言え、平穏な生活を送っています。しかし、それはこの映画で描かれているように日本を原子炉爆発という危機的状況から救った名もなき人々の数多くの犠牲の上に成り立っていること、そして今も大量の汚染水処理、危険な燃料デブリの取り出しや廃炉に向けて高濃度の放射能の危険の中で闘っている人々がいたことを決して忘れてはなりません。そのことを痛切に感じさせてくれる映画です。春休みにDVDか原作本で、日本人として世のため人のために生きるとはどういうことかを考える機会にしてください。

2 留学生モーさんの講演会(2年)を行いました。～ミャンマーについて考えてみよう～

2月25日(木)の7限目にミャンマーからの留学生・モーさん(2年2組)に、母国ミャンマーのことについて講演を行っていただきました。長い年月をかけて軍事政権から民主政権に移行していたミャンマーは、2月1日に軍事クーデターが起き、治安部隊が市民の抗議行動を銃撃で阻止するという非常事態に陥っています。国連を始め、各国は非難の声明や経済制裁を発動していますが、多数の市民が銃弾の犠牲になるという信じられない状況にあります。平和な日本に胡坐をかかず、「自分ならどうするか。」ミャンマーの民主化への道のりや今後の打開策について、モーさんと語り合ってみましょう。



3 今週の話事成語・・・「一犬影に吠ゆれば万犬声に吠ゆ」【問題】英語で表現すると？

一人がいいかげんなことを言い出すと、世間はそれを本当のこととして広めてしまうたとえ。

【由来】一匹の犬が影を見て吠え立ると、他の多くの犬までもがそれにつられて吠え出すという意味。一人の人間がいいかげんなことでも言い出すと、大勢の人がそれを事実のように世の中に言いふらすようになるというたとえ。今の世の中の情勢を著している言葉かもしれません。ネットのフェイクニュースを発端にネット世界で個人情報が拡散され、個人への誹謗中傷が拡大していく様はまさにこの話事成語のようです。今放映されているドラマ「アノニマス～警視庁指殺人対策課～」(テレQ月曜10時)は、無責任な誹謗・中傷で追い込まれていく被害者に寄り添って救っていく刑事ドラマで、今お勧めです。

4 今週の名言・・・中島みゆきさん(北海道出身)の言葉です。

「『幸せ』という字は、『辛い』という字の上についているちよっぴりの点を、十という字に変えると幸せになるんです。十分辛くて、はじめて人は幸せになるんです」

【解説】北海道出身の有名人は数多くいますが、我々の世代にとっては、松山千春、中島みゆきが両巨頭です。皆さん世代にはなじみは薄いかもかもしれませんが、保護者の皆様にはどストライクだと思います。NHKのテレビ番組『プロジェクトX～挑戦者たち～』の主題歌「地上の星/ヘッドライト・テールライト」の作詞・作曲・歌唱のシンガーソングライターが中島みゆきです。「時代」「糸」の方が生徒諸君にはわかりやすいかもしれません。

【中島みゆきについて】シンガーソングライター。75年「アザミ嬢のララバイ」でデビュー。同年、世界歌謡祭「時代」でグランプリを受賞。現在までにオリジナル・アルバム43作品をリリース。コンサート、夜会、ラジオパーソナリティ、TV・映画のテーマソング、楽曲提供など幅広く活動。日本において、70年代から2000年代まで4つの世代でシングルチャート1位に輝いた女性アーティストは中島みゆき、ただ一人です。(参考:「本人公式プロフィール」より)

5 入試によく出る漢字・・・『必須ベスト100』から・その3 いくつか書けますか？

- | | | |
|-------------------|---------------------|--------------------|
| ①人生を誤るほどのユウワクがある。 | ②説明のしかたがメイリョウだ。 | ③この国には石油がムジンゾウにある。 |
| ④自由ホンポウに振る舞う。 | ⑤彼の才能はマイボツしたまま終わった。 | ⑥仕事のホウシュウを受け取る。 |
| ⑦これがフツウであれば特別だ。 | ⑧高い服を着てもヒンジャクに見える。 | ⑨フケツにしていると病気になる。 |
| ⑩国会の解散はヒッシンの状態だ。 | ⑪話の内容をしっかりとハアクする。 | ⑫組織のハイゴ関係を調査する。 |
| ⑬これといったトクチョウもない顔。 | ⑭未来をトウシする能力がある。 | ⑮責任をツイキユウする。 |
| ⑯テキカクな判断をくだす。 | ⑰他のツイズイを許さない技術がある。 | ⑱責任をテンカするだけで反省がない。 |
| ⑲絵画やチョウコクを楽しむ。 | ⑳タイダな心が人間をだめにする。 | |

6 今週の一冊・・・門田隆将の『死の淵を見た男 吉田昌郎と福島第一原発』です。

あの時、何が。今語られるフクシマの真実。2011年3月11日、未曾有の被害に見舞われた東日本大震災からまもなく9年が経過しようとしています。3月6日に、映画『Fukushima 50(フクシマフィフティ)』が公開されます。「3.11」、あの日、日本は「死の淵」に立たされていました。福島県浜通りを襲った大津波は、非常用電源を含めて全電源を喪失させ、福島第一原発の原子炉を暴走させました。一番恐れていた事態に、使命感と郷土愛に貫かれて壮絶な闘いを展開した男たちがいました。あの時、何が起き、男たちは何を思い、どう闘ったのか。原発事故の真相が今明らかになります。映画の原作は門田隆将著『死の淵を見た男 吉田昌郎と福島第一原発』です。刻一刻と迫る炉心溶融を食い止めるため、死地に残り、命を懸けて原子炉建屋に突入した、名もなき作業員たちの姿を描いた小説です。(「BOOK」データベースより)

【解説】表面で紹介した映画の原作本です。インフラを含めて東日本の復興は着実に進んでいますが、福島では、東京電力福島第1原発事故の影響で今なお多くの人々が県外で避難生活を余儀なくされています。震災の記憶を忘れず風化させないための努力が我々にも求められています。今年も3月11日、午後2時46分に黙祷を捧げましょう。日本を最悪の事態から救い、犠牲となってしまった名もなき人々のために、一年一年を刻みながらもその時刻に黙祷を捧げることは続けていきたいものです。

【作者・門田隆将について】1958年高知県安芸市生まれ。本名・門脇 護。土佐高校、中央大学法学部政治学科卒業後、新潮社に入社。週刊新潮編集部には配属され、特集班デスクとして18年間にわたってさまざまな分野で800本近い特集記事を執筆した。デスク時代から「門田隆将」のペンネームで『甲子園への遺言 — 伝説の打撃コーチ高島導宏の生涯』、『ハンカチ王子と老エース』などを出版した。『甲子園への遺言』は、NHK 土曜ドラマ「フルスイング」(主演・高橋克実)としてドラマ化され、ベストセラーとなった。他に、光市母子殺害事件の9年間を描いた『なぜ君は絶望と闘えたのか — 本村洋の3300日』、『神宮の奇跡』などがある。(参考:「門田隆将オフィシャルサイト」より)

7 日本全県の名所とスイーツめぐり・・・第47回は北海道です。

○名所

(参考:「ぐる旅」その他より)

◆小樽運河・・・北海道に行ったらぜひ一度は訪れてみたいスポットです。63基のガス燈が夜をロマンチックに盛り上げます。北海道開拓時代から道民にとって重要な都市であった小樽。小樽港は北海道開拓の玄関口として発展し、現在も小樽の人気観光スポットとなっています。夕暮れ時にガス燈の火が灯る様子はとっても幻想的で、まるで映画のワンシーンのようです。のんびりお散歩や買い物するだけでも抜群の雰囲気を楽しめますし、冬の雪が積もった小樽運河もロマンチックで素敵です。

◆函館山展望台・・・北海道観光の人気スポット堂々の第一位は“函館山から見る夜景”です。港や街がクリアに見える昼間の景色もちろん綺麗ですが、北海道に来たらこの函館山からの夜景はハズせません。ロープウェイで山頂を目指し、そこから見る景色は圧巻です。決して大都市ではない函館ですが、街の明かりと漆黒の海とのコントラストは、他では味わえない美しさです。

○スイーツ・土産

【白い恋人】白い恋人とは、北海道札幌市の菓子メーカー、石屋製菓が製造・販売している洋菓子で北海道士産の定番です。ラング・ド・シャでチョコレートを挟んだもので、ホワイトチョコレートで挟んだ「白い恋人ホワイト」と、ミルクチョコレートを挟んだ「白い恋人ブラック」の2種類がありまい。商品名の由来は、ある年の師走に創業者がスキーを楽しんだ帰りに「白い恋人たちが降ってきたよ。」と何気なく言った一言によるとされています。現在では年間約2億枚を売り上げるまでになり、土産品の単品売り上げでは赤福餅(三重県)に次いで全国2位です。

【ドゥーブルフロマージュ】今や北海道スイーツの代表格のルタオは小樽が本店です。ベイクド仕立てのクリームチーズの上にふわっとレアなマスカルポーネチーズの2層仕立てになっている絶品チーズケーキです。奇跡の口どけに感動間違いなしです。ベストお取り寄せ大賞も獲得するほどの人気です。佐賀玉屋で定期的に開催される「北海道フェア」でも定番になっています。

8 保護者の皆様へ・・・部活動の県外試合の制限が緩和されました。

第3波の感染が減少傾向にあるため、県の指針として制限されていた県外チームとの練習試合等が緩和されることになりました。感染地区を除く近県との交流試合は許可されましたが、リスクはゼロではありませんので、参加については各家庭の事情・状況でご判断ください。まだまだ、第4波の襲来も心配されます。県内でもカラオケによるクラスター等も数多く発生していますので、引き続き感染拡大防止策へのご協力をよろしくお願い致します。

【表面の問いの答】○ When one dog barks to see a shadow, hundreds of dogs begin to bark. ○ One barking dog sets all the street a-barking. (一犬が吠えたと町中の犬が吠えだす)

- ①誘惑 ②明瞭 ③無尽蔵④奔放 ⑤埋没 ⑥報酬 ⑦普通 ⑧貧弱 ⑨不潔 ⑩必至
⑪把握 ⑫背後 ⑬特徴 ⑭透視 ⑮追及⑯的確・適確 ⑰追隨 ⑱転嫁 ⑲彫刻 ⑳怠惰